

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AN340／文学講義 110 (Lectures on Literature 110)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ドイツのメルヘン		
担当者名 (Instructor)	西口 拓子(NISHIGUCHI HIROKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3800	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	文学部生以外は抽選科目で登録すること。		

授業の目標 (Course Objectives)

本講義はメルヘン研究の基礎を理解をすることを目的とします。

This course aims to explore and gain a fundamental understanding of Folktale Research within the German Region.

授業の内容 (Course Contents)

主にグリム童話を手がかりに、メルヘン研究の基礎を学びます。授業では、グリム童話の珍しい絵本なども紹介します。

The foundations of German Folktale Research will be studied and interpreted through Grimms' Fairy Tales. Rare picture books printed in Germany and Japan will be introduced.

授業計画 (Course Schedule)

1. 導入: 授業計画、評価方法について。ドイツメルヘン街道とグリム童話
2. メルヘンの分類 AT/ATU について
3. 「狼と七匹の子やぎ」1: グリム童話、日本での受容、プロップの形態学
4. 「狼と七匹の子やぎ」2: グリム童話、日本での受容、プロップの形態学
5. 「六羽の白鳥」グリムとアンデルセンの比較、リュウティの文体論
6. アメリカのグリム研究
7. 森鷗外没後 100 年 ~ 森鷗外とグリム童話
8. 「赤ずきん」ペローとグリム、プロップの形態学
9. 「蛙の王さま」日本での受容、ヴィルヘルム・ブッシュ
10. グリム童話: グローバルな受容
11. バジールとストラパローラ: イタリアのメルヘンとグリム童話
12. ディズニーとメルヘン映画
13. 「白雪姫」ムゼーウスとグリム
14. 最終授業時 筆記試験を実施します

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

参考文献を読んでください。絶版のものは、大学図書館か近くの図書館で探してみてください。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%) / リアクションペーパー(50%)

リアクションペーパーで出席確認と平常点の評価を行います。

テキスト (Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 野村 滋 (訳)、2005、『完訳グリム童話集』、筑摩書房 (ISBN:978-4480421418)
2. 野村 滋、1993、『グリム童話—子どもに聞かせてよいか?』、筑摩書房 (ISBN:978-4480081087)
3. リューティ/小澤 俊夫 (訳)、2017、『ヨーロッパの昔話—その形と本質』、岩波書店 (ISBN:978-4003422915)
4. リューティ/野村 滋 (訳)、1997、『昔話の解釈—今でもやっぱり生きている』、筑摩書房 (ISBN:978-4480083197)
5. リューティ/野村 滋 (訳)、1994、『昔話の本質』、筑摩書房 (ISBN:978-4480081681)
6. プロップ、1978、『昔話の形態学』、水声社 (ISBN:978-4891762087)

その他は、授業中に紹介します。

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

